

平成 28 年度札幌国際大学奨励研究費（共同研究）

一般社団法人北海道商工会議所連合会との人材育成に関する産学連携プロジェクト報告書 ～企業・学生ニーズを中心に～

札幌国際大学 原一将、関憲治

札幌国際大学短期大学部 椿明美、小林純

I はじめに

2015（平成 27）年 4 月 2 日より、一般社団法人北海道商工会議所連合会と札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部（以下、本学）は、北海道における人材育成について積極的な連携・協力を行うことにより、北海道経済の成長と人材育成に寄与することを目的とし、人材育成に関する連携協定を締結した。この協定には、企業の人材ニーズに関する調査研究や学生にキャリア意識に関する調査研究、人材教育の現状・課題と新たな教育課程の設定に向けた意見交換の実施などの事項が含まれている。

この協定に基づき、北海道商工会議所連合会との共同事業二年目を迎えた今年度は、以下の 3 事業を実施した。各事業の概要と結果、実施後の考察を行った成果を報告する、

1 「社会人講座」の企画・運営

道内企業と学生を結びつけるための施策として、本学の講義において、社会人と学
生のトークセッションを中心とする、特別講義を実施した。前期・後期それぞれで実
施したが、昨年度の内容をさらにブラッシュアップさせ、より学生の興味を引く内
容とした。

2 企業と大学の意見交換会

道内全域の商工会議所加盟企業 8 社を招き「大学教育への要望」「各社若手社員の近年の傾向」「インターンシップへの取り組み」等、多岐に渡るテーマで自由闊達な議論が交わされ、今後の本学キャリア支援活動に有益な示唆をいただく機会となった。

3 青森県就職市場調査

東北出身学生の中でも青森県出身の学生は、現在 46 名（平成 29 年 3 月現在）在

籍している。卒業後は地元で U ターン就職したい学生がいるため、北海道商工会議所連合会の紹介で青森商工会議所を訪問し、就職市場調査を行った。

II 研究概要・方法等

本研究の概要は以下のとおりである。

1 「社会人講座」の企画運営

昨年度は教室での開催だったが、今年度前期開催分に関しては、教室ではなくカフェ

テリア（学生食堂）での開催とした。「オープンな空間でフランクな雰囲気」が狙いである。小樽・石狩・滝川・帯広・恵庭・岩見沢の商工会議所から 10 社の若手経営者に来ていただき、一社 20 分のラウンド形式で、企業がテーブルを回るスタイルとした。後期開催分に関しては、授業担当講師によるトーク形式とした。授業後半には学生に質

問シートを配布、グループで質問内容を考えてもらい、匿名による質疑応答を実施、挙

手では聞きにくい内容の質問にも回答してもらう形式を取った。参加学生の反応については後述する。

2 企業と大学の意見交換会

「実務教育・キャリアの国際大学」を標榜する本学では、今期の就職活動解禁日を迎えるにあたり、北海道商工会議所連合会様との連携協定の一環として「大学と企業との意見交換会」を開催した。札幌・苫小牧・帯広の商工会議所から 8 社の経営者に来ていただき、「大学教育への要望」「各社若手社員の近年の傾向」「インターンシップへの取り組み」等、多岐に渡るテーマで自由闊達な議論が交わされ、今後の本学キャリア支援活動に有益な示唆をいただく機会となった。

3 青森県市場調査

3 月 7 日（火）～9 日（木）の三日間、青森県を訪問し、採用市場調査を行った。訪問先は青森商工会議所、青森県中小企業家同友会、ジョブカフェあおもり、青森銀行、みちのく銀行である。北海道同様、数年ぶりに有効求人倍率が 1%を超えた同県でも学生の採用には苦戦している。仕事の煩雑化に伴い、これまでのように高校生でいいと

うわけではなく、大学生・短大生・専門学校生を採用したいという企業が増えている。なお、高校生の採用も以前のように楽ではない。

Ⅲ 調査結果等

1 「社会人講座」の企画・運営

昨年度に引き続き、二年目を迎えた「社会人講座」であるが、対象学生は入学直後の
の
慌ただしさが残る1年生ではなく、就職活動を目の前に控えた3年生でもない、大学
2年生である。昨年度も大学2年生を対象に開催したが、大学生活に慣れつつあり、し
かし就職活動はまだ先という2年生は、固定観念を持たず、スポンジのような吸収力
を持っている。それは昨年度で立証済みなので、引き続き今年度も2年生を対象に開
催した。本講座は、経営者の生の声を聞いてもらうことで、札幌だけでなく、札幌以
外
の企業にも目を向けてもらうことが目的である。なお、感想から読み取れる本学学生
の
職業観は下記のとおりである。

- ・今回は若手経営者に来ていただいたが、「経営者」と会うことはもちろん、「現役の
社
会人」と会うことが初めてという学生が多かった。学生が知っている社会人は「ア
ルバイト先の社員」、「親」、「教員」に限定されるケースが多く、学生の行動範囲の
狭さが推測される。それゆえ、大学側でこのような講座を開催しない限り、学生が
「現役の社会人」と知り合う機会は少なく、ましてや「経営者」と知り合うことは
不可能に近い。「オープンな空間でフランクな雰囲気」で話が出来たことは学生の価
値観を変えたと思われる。
- ・価値観とは「大手企業でなければならない」という先入観の破壊である。「安定」は
ここ数年学生のキーワードになっているが、「安定している中小企業の存在」を知ら
なかった学生も多く、それを経営者の言葉でわかりやすく伝えたことが、理解を深
め
たと思われる。また、人文科学系の本学の学生は経済のことをよく知らず、新聞や
ニ
ュースを見る機会も少ない。今回参加された企業は全て業界がバラバラである。そ
の
数だけ、業界と会社を知ることが出来たと言ってもいいだろう。
- ・今回は業界や企業説明というより「働く論」を語っていただいたが、ラウンド形式
ゆえ時間が短かった。その中でも質問力のある学生は率先して質問していたが、挙手
する積極性がなかった学生はそのことを悔やんでいた。これは本学だけの傾向ではな

いかかもしれないが、挙手する積極性のある学生とそうでない学生の差が二極化して顕著に表れた。

共
出、
年
・次年度の課題としては、地域という大きな括りではなく、企業という小さな括りで同展開することが望ましいと思われる。昨年度、今年度は全道の地域から企業を選出、
本学において座談会形式のイベントを開催したが、どうしても学生が受け身になってしまう感は否めない。企業とのコラボレーションで何かをなし得ることにより、
年
間を通した実績を上げることが出来る。例えばゼミ単位で動くというのもひとつの手段である。

今年度は前期に一回、後期に一回開催したが、以下は参加企業と、3学部6学科、合計約300名の学生アンケートの一部抜粋である。

【前期】

- ① 対象 スポーツ人間学部2年生 約100名、人文学部2年生 約100名
- ② 参加企業 株式会社大忠（小樽）、安川自動車興業株式会社（小樽）、株式会社アンビックス（小樽）、有限会社三愛（石狩）、有限会社アット（石狩）、株式会社ミクニ舎（滝川）、有限会社こばとハイヤー（帯広）、株式会社メモリアルむらもと（恵庭）、株式会社けいしん水道設備（恵庭）、株式会社金田設計（岩見沢）

【後期】

- ① 対象 観光学部2年生 約70名、人文学部2年生 約100名
- ② 参加企業 けいしん水道設備（恵庭）、株式会社ファミリーケアサポート（留萌）、株式会社ミクニ舎（滝川）、株式会社神部組（滝川）、ダイワ工業株式会社（美唄）、有限会社三愛（石狩）、有限会社しまだ総合保険（石狩）

(1) 前期開催分-I スポーツ人間学部

●きっかけは人それぞれですが、それをものに出来ている人の話は大変参考になりました。残り2年間の学生生活、どんなきっかけに出会えるか楽しみです。

（スポーツ人間学部 スポーツ指導学科 男子）

●起業された方のお話を聞かせていただきましたが、起業前のきっかけ、起業しようと思

な った業種に着目したポイントなど、とても興味深いお話でした。普段聞くことの出来

お墓や建築業界の話も聞くことができ、大変参考になりました。

(スポーツ人間学部 スポーツ指導学科 男子)

- 「自分の建てた家が残っていくのがやりがい」と建築業界の方が話されていました。

各

業界によってそれぞれ大変さがあるものの、それぞれやりがいがあると知りました。

(スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科 男子)

- 今回はサービス業の方々が多かったですが、最終的には「お客様が望んでいること以

上

のサービスを提供する」という姿勢が伝わってきました。やはり仕事を一流にこなし

て

いる方々のおっしゃることは違うなと感じることばかりでした。

(スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科 男子)

- 就職すれば、大学生活と違った経験をしたり、なかなか自分の時間を作れなかったり、生活のために多くの犠牲もあるので、今の大学生活を無駄にしないようにと改めて思いました。また、転職についてもマイナスの面ばかりではないと知ることが出来ました。

(スポーツ人間学部 スポーツ指導学科 男子)

- しっかり学ぶとは勉強だけではなく、アルバイトを数多くして、いろいろな経験をし

た

方がいいというアドバイスが印象的でした。

(スポーツ人間学部 スポーツ指導学科 男子)

- 突破口は自分で切り開かなければいけないと思いました。そして、社内でも気の利く

人

が仕事の場でも伸びるとおっしゃっていましたので、これからは部活動やアルバイトでも、上の人間だけではなく、同学年の人間や下の人間にも気を配っていこうと思

ま

した。人より二歩も散歩も前に出なければいけないこともあらためて痛感させられました。

(スポーツ人間学部 スポーツ指導学科 男子)

- 社会人の方からためになるお話をたくさん聴くことが出来ました。短い時間であんなにも人を惹きつけられるのが、社長や支配人なのだと思います。

(スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科 男子)

- 「お客様の気持ちに寄り添う」「足りないことに気付く力」「コミュニケーションの取り方」を教わりました。いろいろな仕事があり、それぞれ異なった達成感があり、お

お客様や地域の人に喜びを与えられるのは凄いいいと思いました。同時に、将来は自分の力を少しでも社会に役立てられればいいなと思いました。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- 今、私はスポーツのことを学んでいるが、スポーツの知識しかなくても、新たな仕事に就いた場合、その仕事の知識は職に就いてからでも十分身につけられることがわかりました。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- 今は部活動をやっていませんが、何らかの形でまた始めて、礼儀などを身につけたいとあらためて思いました。また、高校まで部活動をやっていたので、自分に凄く自身が付きました。

(スポーツ人間学部スポーツ 男子)

- どんな仕事にも共通しているのは、責任がついてくる、日々勉強である、縁を大事にする、お客様を大事にする、嫌なこともしなければならない、ということでした。また、人とは違った行動を取ることがこれからのカギになると教わりました。

(スポーツ人間学部スポーツビジネス学科)

- 社会人になっても勉強は続く、学校では学べないことを社会では学べるということを知りました。

(スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 男子)

- 皆様、転職を経験しているのが意外でした。また、その転職によって様々な経験をする

ことが出来た、多種多様な資格を取得することでオリジナリティーが生まれるとおっしゃっていたのに印象的でした。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- 仕事には必ずやりがいがあり、人との繋がりを大切にしていたら、いつかは実がなると教わりました。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- ホテルの仕事にとっても憧れを持っていたので、今回お話を聴いて、ホテルの仕事への魅

力がさらに高まりました。自分も関わったお客様一人一人の記憶に残るような社会人になりたいです。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 女子)

- 考えることが大事であり、まずはお客様、その次に会社という感じで「誰かのために何かをする」ことがやりがいに繋がると思いました。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- 勉強も大事であるが、経験がないと仕事に活かすことが出来ないとわかりました。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- 「言われていないことも出来ると強い」「PC（エクセル・ワード）はある程度出来るとありがたい」「社会人になると時間に余裕がなくなってくる」これらの言葉が印象に残りました。

（スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子）

- 全ての企業の方から熱い言葉を数多くいただいて、貴重な経験となりました。

（スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子）

- アルバイトをやっている人とやっていない人では、アルバイトをやっている人のほうが上下関係などをわかっているの、アルバイト経験は大事と教わりました。

（スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子）

- 社会では「気が利く人」が求められているようなので、自分もそうなろうと思いました。

（スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子）

- 自分の思っていた企業のイメージと、今日、企業の方とお話しした後のイメージが全く違い、凄く自分のためになりました。

（スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子）

- 聴きたいことがまだまだたくさんあり、時間が凄く短いと感じました。

（スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 男子）

- 様々な業種の方からお話を聴くことができ、貴重な経験になりました。自分はスポーツメーカーに就職したいと思っていますので、初めはあまり興味がないと感じましたが、お話を聴くと、とても自分の将来に活かせることばかりだと感じました。

（スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 男子）

- やりたくて入った会社じゃなくても、やりがいがあれば続けていけるという言葉に感銘を受けました。

（スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 男子）

- 学生に対してもしっかりと名刺を渡し「お願いします」と言ってくれました。自分もそういうしっかりとした人間になりたいと思いました。

（スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 男子）

- 実際に働いている方のお話を聴いてみて、苦勞の一つや二つなんて吹き飛ばし、辛いことから逃げずに戦い続け、その結果、良い人たちと出会って今があると感じたので、私お様々なことにチャレンジし続けたいと思いました。

（スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 男子）

- 今回の授業は本当に貴重な経験であったと感じています。私は今、教員養成のプログラムを受けており、中学校の保健体育の教員を目指しているため、もしかしたら、企

業のトップの方々にお会いするのは、今日が最初で最後かもしれません。お話を聴いていて「経験が大事」と皆様おっしゃっていたので、私も今後「経験」を積んで、立派な大人、社会人になりたいと思いました。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- 私は今、スポーツ系の仕事に就きたいと考えています。スポーツを指導する仕事に就いた場合、指導される側には高齢者の方々も多いと思います。それを考えると、私も高齢者の方々の気持ちになることが大事であり、高齢者の方々がスポーツをしやすい環境づくりをしていかなければならないと思います。今日お話を聴いて、自分で考えたことを提案し、実行していかなければならないと強く思わされました。今やっているアルバイトも、やらされている、言われたことだけをただこなしているのではなく、自分から「こうしたほうが良い」と考え行動することが大切だと思いました。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- 自分も話す立場になったら、自分の仕事に誇りを持って話せるようになりたいです。皆様、目を輝かせていましたので。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- いろいろな企業のお話を聴いて刺激になりました。夢は教員ですが、一般企業も悪くないと思いました。今日は自分の視野を広げることが出来たと思います。今日来ていただいた方々のように、自信のある人間になりたいと思いました。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- やる気と元気と礼儀は大切であり、法律だけ勉強してもこの三つがないと社会では通用しないそうです。学生時代はやりたいことが出来る最後の場なので、今出来ることをやりなさいと教わりました。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- お客様のことを第一に考えて動くのが大事であり、勉強さえ出来ればいいわけではなく、仕事に対して誠実に働ける人間が必要とされる。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- 欲しい人材などを実際に聴いて、今直せるところは直していこうと思いました。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- 仕事をすることはお客様に喜んでもらうことであり、何のためにしなければいけないのかを考える必要がある。勉強は生涯やっていかなければならないが、まずは目の前の仕事をきちんとやること。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

- 今回の話を聴いて、責任の大切さを知ることができ、それが仕事人のやりがいに繋がっているということがわかりました。自分は教師を目指していますが、話し手が聴き手

を振り向かせるような話し方のヒントを得ました。

(スポーツ人間学部スポーツ指導学科 男子)

(2) 前期開催分-Ⅱ 人文学部

●「自分に魅力があれば人は集まってくる。それが信頼関係に繋がる」「人から頼まれたら簡単に断らず、何が出来るのかを考える」「受験は必ず受かるが、就職は落ちることもある」「人は違って当たり前」印象に残った言葉です。今日のお話を聴いて、一生懸命やっているから成功して、幸せで充実しているのかなと思いました。

(人文学部心理学科 女子)

●人生は一度きり、あなたにしか出来ないこと、自分にしか出来ないことをやってくださいと言われました。やります。将来かけがえのない存在になりたいですし、やりたいこともありますので、それに向かって全力疾走します。

(人文学部心理学科 男子)

●少し残念だったのは、もう少し時間が長ければということと、私に質問する勇気があればと思ったことです。

(人文学部心理学科 女子)

●自分が思っていたよりも楽しく、いろいろな話を聴けて本当に良かったです。大人の人と話をすること、知らない人と雑談することの大切さを身に沁みました。あと三回は実施して欲しいくらいです。

(人文学部心理学科 女子)

●お話を聴いていると、いろいろな発想から起業されていて、この世に無限の可能性があることを感じました。また、どのような質問に対しても、こちらが驚くような回答をしてくれて、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

(人文学部心理学科 女子)

●「大人の話を聴くとためになる」という言葉は本当だと思いました。私にはない発想を持っているので、新しい見方を発見出来ました。後から後悔しないように、まずは自分が出来ることを探し、磨いていこうと思いました。そして、今しか出来ないことを思いつきすることが大切だと思ったので、今を全力で頑張ります。人生の選択肢を増やしてやりたいことをしたいです。

(人文学部心理学科 女子)

●お客様と関わる以上、信頼を得ることが大切で、そのためには「自分に付加価値をつける」ことが大事だと学びました。

(人文学部心理学科 男子)

●就職するために大事なことは、学生時代に何を見て、何をするのかだと思いました。社会人の皆様とお話して、やりたいことは何でもやって頑張っていけば、好きな道が見

つかると思いました。そして、働くにはお金も大切ですが、その仕事を好きだと感じるやりがいがないと続かないということも今日のお話でわかりました。

（人文学部現代文化学科 男子）

●どんな人間にも失敗はある。しかし、失敗に対してどう向き合っていくか、自分の考え方次第でプラスな方向へ行くか、マイナスな方向へ行くかが決まると思いました。皆様のお話を聴いて、社長など上に立つ人は一般社員に比べ仕事量も多いと思いますが、そのようななかで札幌国際大学のために時間を割いてくれて、とてもありがたいと思いました。自分も仕事ができる大人になり、子供に誇れる仕事ができるように頑張りたいです。

（人文学部心理学科 男子）

●ある企業の方がおっしゃっていました。「何かを作っても誰かにお礼を言われるではない。でも介護は人生の先輩にお礼を言われるので、やりがいがある」この言葉がとても響きました。誰かの役に立つ仕事をしていて、実際に利用者の声を聴けることがやっていて良かったというモチベーションに繋がるそうです。「今までの失敗は経験であり、落ち込む必要はない」という言葉も良かったです。

（人文学部心理学科 男子）

●今回のような企画は初めてでしたが、とても新鮮な感覚で、何より面白かったです。大々的なイベントでしたが、まるで就職活動の合同会社説明会で話を聴いている気持ちになり、新社会人に一步近づいた気持ちです。ただ気がかりだったのは、企業の方々のお話に共感出来たり、とても集中出来たにも関わらず、私自身に質問する勇気が出なかったことです。最後に原先生が、今の学生には自ら積極的に何かをしよう、企業と接触して行動を起こそうという意志に欠けるとおっしゃっていましたが、それは自分にも当てはまると感じました。そして、技術や資格を学ぶのも大事ですが、もっとも重要なのは社会人として当たり前のマナーや自発的に動く習慣をつけることだと痛感しました。この講座に参加出来て本当に良かったです。

（人文学部心理学科 女子）

●世の中には僕の知らない仕事がたくさんあって、そこで上に立っている人も、学生時代はやんちゃなことをしていたと知り驚きました。学生時代は机にしがみついて勉強しているイメージがあったからです。

（人文学部現代文化学科 男子）

●正直に言うと、代表取締役や常務取締役は固そうだな・・・という印象を持っていました。しかし、お話を聴いていると大変面白く、それでいてわかりやすかったので「仕事」「働く大人」が身近に感じました。

(人文学部現代文化学科 男子)

●今日のお話を聴く前と聴く後では、就職についての意識が自分の中で高まったと思っています。私も将来はこういう舞台に立てる人間になれるよう、まずは良い企業、自分に合った企業を探していきたいと思いました。

(人文学部心理学科 男子)

●「まずは三年やってみる」「魅力があれば何でも任される」「自分好きなことをやってみる」「頭にパッと思い浮かぶ存在になる」「人は違って当たり前。自分らしさを出す」「大人として守ることは守る」大人の話はやっぱり面白いと思いました。人としての厚みを感じました。私も頑張ろうと思いました。感謝。

(人文学部心理学科 女子)

●どの企業もお客様第一ということがよくわかりました。座学で原先生が言っていたことを、実際に企業のトップから聴けて具体的にわかりました。

(人文学部心理学科 女子)

●どんな職業にも共通した部分があることを理解しました。今回のお話を聴いて、人と違っていることに自信喪失するのではなく、それを誇りに出来る人間になりたいと思いました。大人はいろいろなことを知っていて憧れました。また、北海道の良さも知ることができ、貴重な経験をすることが出来ました。大学生活でも縁を大切にしたいと思いました。

(人文学部心理学科 男子)

●私の父親は銀行員です。私を大学へ通わせるため、今もきつと頑張って働いています。働くとは自分の夢を追うことだけでなく、家族を養うため、人のため、もしくは縁があってといったように、動機はたくさんあります。なかなか機会がない社会人の方々との交流は、私の価値観を社会の一員にさせる貴重な時間となりました。

(人文学部心理学科 男子)

●終わりの一言でもありましたが、自分の魅力を社会で発揮出来るようにしたら良いと聞き、自分の魅力が何なのか、知っているようで知らない自分の魅力を徐々に見つけていかなければならないと思いました。その魅力や長所、得意なことを生かして、縁が広がるように頑張りたいと思いました。

(人文学部心理学科 男子)

●皆さん、社長という立場にも関わらず、私が想像していたより大変フレンドリーで、何でも話してくれて、とても良い経験になったと思います。

(人文学部心理学科 女子)

●3社のお話を聴いて、普段絶対聴けないような内容だったので、大変ためになりました。かつ、面白かったです。皆様のお話を聴いて、自分の未来にはいろいろな可能性があり、たくさんの選択が出来ると学びました。

(人文学部心理学科 女子)

●「縁があればまた出会う」「従業員の人数は多くても少なくてもダメ」「じっくり時間をかけて取り組み、いいものを提供する」今日学んだことです。

(人文学部心理学科 女子)

●人の上に立ち、まとめていく人は、共通して表情が豊かだと感じました。私は保育の勉強をしているので、このまま保育の道に進むと思いますが、どこかでご縁があれば宜しくをお願いします。

(人文学部心理学科 女子)

●従業員の数が多いからいいというわけではないのだと思いました。いいものを誰かに提供する場合、時間を掛けて行うことが大事なのだと思います。「縁があれば」というのは、友達や周りの人にもいえることなのだと思います。

(人文学部心理学科 女子)

●私の専攻はこども心理なので、一般企業に就職することはないと思いますが、社会人として山あり谷ありの人生を歩んできた先輩たちの言葉はとてもためになりました。

(人文学部心理学科 男子)

●自分の魅力を探す、この人に任せたいと思わせる対応、人から頼まれたら直ぐ断らない、この三つが印象的でした。

(人文学部心理学科 女子)

●社長さんは難しいイメージでしたが、いろいろな道を経験してきたからこそ、魅力的なのだと思います。

(人文学部心理学科 女子)

●それぞれの社長さんが明確なビジョンを持っていると感じました。同じことを言っている方は一人もおらず、言っていることは違いますが、どの社長さんも口調がハッキリとしていました。

(人文学部心理学科 男子)

●普段の授業ではなかなか聞くことが出来ない「事業について」「経営について」「やりがいについて」を学ぶことが出来ました。今回の講演で、将来、自分が出来る選択を増やすことが出来ました。

(人文学部心理学科 男子)

●時々、社会人の知人から仕事の話をお聴くことはありましたが、今回のようなケースは初めてでした。普段は聴くことが出来ないような貴重なお話を聴かせていただき、自分の視野や考え方を広げることが出来ました。お聴きしたお話はどれも興味深く、社会経験を養うことが大事なのだと思います。

(人文学部心理学科 女子)

●普段は同年代としか話す機会がないので、とても勉強になりました。

(人文学部心理学科 男子)

●普段、大人と話をすることは、親、親族、バイト先、先生以外にあまりいないので、とてもためになりました。社会人としても、人間としても先輩ですが、偉いのに偉ぶることなく、漠然と凄いなと思いました。やはり人間性が大切なのだということがわかりました。

(人文学部心理学科 女子)

●どの企業の方々も、自分のお仕事に誇りと自信を持っていて、将来何をしようか迷っている私にとても輝いて見えました。これから焦らずに、自分のやりたいことを見つけたいと思います。

(人文学部心理学科 女子)

(3) 後期開催分-I 観光学部

●4社のゲスト企業様の話を聴いて、一番印象に残ったことは「ポジティブ」だということです。挑戦して結果を出したら、そこで終わりではなく、また新たなことをやっていこうという気持ちがとても伝わりました。私は失敗すると落ち込んでしまいますが、今回のお話を聴いて「失敗ではなく経験だと考える」という言葉が大変印象に残りました。社会に出ると失敗は許されないので、今だから失敗という経験をたくさんしようと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●同じ社長という立場でも、考えていることは人それぞれ違っていて、だからこそ会社が成り立つのだと思いました。4社のゲスト企業様のお話を聴いて、いろいろなことを経験したからこそ、今の仕事での地位があるのだと思いました。私はずっとひとつの仕事をすることが幸せだと考えていましたが、転職をしたり、休職をしたりして、自分のやりたいことを試行錯誤することもありなのかなと考え直すことが出来ました。普段であればなかなか考えることのない内容を考えることが出来て、自分を見つめ直すいい機会でした。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●社長さんがいらっしゃって、最初は固くて面白くなさそうでしたが、それは私の大間違いでした。本当に楽しくて、将来に役立つようなお話をたくさん聴かせていただきました。皆さん、自分の仕事に誇りを持っていらっしゃる点も素敵だなと思いました。たとえ失敗をしても、それを良い方向に考えることが出来るのは凄いと思いました。本当にありがとうございました。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●4 社のお話を聴いて、共通していると思った点は、ユーモア溢れるお話をされるということです。聞き手に対し、ただ真面目に話をしても飽きてしましますが、時々見せるユーモアには心を驚掴みされました。真面目とユーモアの切り替えによって、聞き手が思わず吸い込まれてしまう話術が、今の自分にとって身につけたい能力だと思いました。そして、考え方次第で、状況の見え方は大きく変わってくるのだと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 男子)

●今回、いろいろな会社の社長の話を聴いて思ったことは、全員、人生を楽しんで生きているということでした。全ての経験を良い方向やプラスに捉えており、本当に器の大きな人たちだと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 男子)

●高卒で働き始めた方、親の仕事を継いだ方、転職して今の仕事をしている方、それぞれでしたが、学歴ではなく、結局は自分の気持ち次第なのかなと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 男子)

●皆様は大変面白く、私たちにわかりやすいよう話してくれましたが、「今までの人生、いろいろな生き方、経験など、私たちにはわからないことがまだまだあるのではないのでしょうか？」と勝手ながら感じていました。将来、ある程度の歳になったとき、私も皆様のように振り返ることが出来ればいいなと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●社長は社員のミスの責任を追うという大きな仕事があります、しかし、社長自身はミスが出来ないというプレッシャーがあるなか、自分の仕事に誇りを持ち、それでいて大変面白い大人だと感じました。

(観光学部観光ビジネス学科 男子)

●話が上手で思わず聴き入ってしまいました。皆様、会社も出身もバラバラなのに、友人のように見えました。仕事でも何でも上手くいく人は、人との付き合い方が上手なのかなと思いました。私は人との付き合いで「嫌い」から入ってしまうのですが、皆様みたいに気軽に話をしたり、知らない人とでも楽しく過ごせるような人間になりたいと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●今回のお話を聴いて、どのような仕事に就いたとしても、その仕事に誇りを持って働くことが大切だと思いました。私も仕事を選ぶときは、人に「ありがとう」と言ってもらえるような仕事に就きたいと思いました。代表取締役というのは、社員の失敗も受けとめるくらいの大きな心を持ってやらなければいけないのだとわかりました。失敗をしても、いつまでもそれに捉われず、くよくよしないで、前を向いていかなければならないとわかりました。(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●いろいろな経験をして、それをどのように生かすかが人生に大きな変化を作るのだと思いました。今の自分は失敗をしても、それをなかったことにして、そこから何も学べ

ていません。だからこそ成長する機会を得たいと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●今回、4社のお話を聴いて、失敗をすることで落ち込むのではなく、経験をしたと思っていたほうが、時間もメンタルも無駄にしないで済むということを学びました。さらに、皆様、自分たちと同じくらいのときは遊んでいたようですが、遊びの中にもけじめをつけていくことが大事だと感じました。

(観光学部観光ビジネス学科 男子)

●学生の頃、遊んでいたりと、学校に行っていなかったりする人でも、アルバイトなど自分に与えられたことを続けていけば、立派な大人になれるのかなと思いました。私も将来のことを考えると焦ってしまいがちですが、何かひとつのことに集中して頑張ろうと思います。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●「失敗してはいけない立場」の責任や緊張はとても大きなもので、毎日大変だと思います。それでも今日お話しいただいた皆様は楽しそうでした。毎日大変でも、笑顔で楽しいと思える職場で働きたいと思いました。皆様のお話は大変楽しく、今まで関わって来なかった業界でしたが、とても勉強になりました。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●皆様、自分の仕事に一生懸命で、お仕事をさせてもらっているという感謝の気持ちがとても感じられました。怒られることがあっても前に進み、失敗しないよう日々頑張っているのだなと思いました。私も今やっていることを一生懸命やり、将来も頑張れる人間になりたいと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●人には人の人生があり「みんな違ってそれでいい」という話が印象的でした。「もし生まれ変わっても、今の仕事をしていますか？」という質問で、×の人が多かったのも意外でした。自分自身も×ですが、今の人生と違う人生を比較してみるのも面白いと思いました。やっぱりあの頃が良かったと思うときもあれば、やっぱり今のほうが良いと思うときもあるでしょう。失敗することもあるれば成功することもありますし、やって良かったと思うときもあれば、やらなければ良かったと思うときもあります。そのような深いお話でした。

(観光学部観光ビジネス学科 男子)

●全員への質問で「20歳のときは何をしていましたか？」というお題がありました。皆様、遊んでいたりと、好きなことをされたりしていましたが、仕事をしていた人はきちんと仕事をしていたので凄いなと感じました。そして、仕事にやりがいを持って、誇りを持っている皆様はとても良いなと感じました。いくつになっても、怒られることは辛いのだなと思いました。大人になっても仕事をして学ぶことがたくさんあるので、怒られることも必要なのだと思いました。まだ何をしたいかはっきりしていませんが、後悔

しないように、やりがいを感じて、仕事をしていて良かったなと思えるように、まずは目の前のことをきちんとやとうと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●まだ20年しか生きていない私ですが、多くの失敗を積んできたと思っています。しかし、人生を長い目で見たときに、果たしてそれが本当に失敗であったかどうか、今日、疑問に思いました。「失敗だとは思っていない、あくまでも確認」という言葉には心を動かされました。小さなことで悩んでいた今までの自分を、一瞬にして一変させてくれたかのような感覚でした。これからは失敗だとは思わず、あくまでも確認であると受け取り、直ぐに切り替えていきたいと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 男子)

●人生に大きな失敗がなく、それは失敗したとしても良い方向に捉えているからと知ったとき、凄いと思いました。20歳の頃は遊んでいたけど、大人になって後悔しているという話を聞いたとき、自分も気を付けようと思いました。

●「失敗はない」この言葉が心に突き刺さりました。とてもユニークで、頭の柔らかい人たちばかりだと感じました。むしろ、そのような立場の人は、そういう心じゃないと務まらないような気がしました。

(観光学部観光ビジネス学科 男子)

●皆様、親近感があり。とても好感が持てました。人生の中で大きな失敗はないか？という質問をさせていただいたのですが、皆様、失敗を失敗と捉えておらず、ポジティブに捉えているのには大変驚かされました。自分も失敗を失敗と捉えないで「次のための経験」というふうに捉えられるようにしたいと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 男子)

●「失敗したこと、そこから立ち直ったきっかけ」の話をしていただき、失敗することは誰にでもあるけど、それでいちいちくよくよせず、前に進んでいかなければならないのだと学ぶことが出来ました。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●職種はバラバラでしたが、皆様「楽しいおじさん」に見えました。社会人は堅苦しいイメージがありましたが、皆様、若いときは遊んでいたのだと聞いて安心しました。普段はどのように働いているのか大変気になり、もっと知りたいと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

●普段、社会人の大人と関わることがあまりないので、とても新鮮でした。様々な仕事の中身や、やりがいなど、学ぶことが数多くありました。また機会があればお話を聞きたいと思います。私のこれからの人生にとってプラスになる時間でした。ありがとうございました。

(観光学部観光ビジネス学科 男子)

●それぞれの方のお話を聞いて、いろいろな職業がありますが、皆さん自分のお仕事に

誇りを持っているなと感じました。自分のお仕事の話がされているときに、一番楽しそうでした。自分も仕事をして楽しいと思えるような仕事に就きたいと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 男子)

●ひとつの質問、事柄についての答えが順番に聴けたので、個人の考え方、経験の違いを比較しながら聴くことが出来ました。皆様それぞれ状況はありますが、仕事そのものがいやで辞めたいと思っている方がいないように感じました。私の「仕事に対するイメージ」は決して良くありませんでしたが、考え方が少し変わりました。それぞれ向き不向きもあると思いますが、取り掛かる姿勢は皆様とても良いものだと感じましたので、私も仕事を苦にしない働き方が出来たらいいなと思いました。

(観光学部観光ビジネス学科 女子)

(4) 後期開催分-II 人文学部

●今回は今の社会を担うとても役職の高い方ばかりで、最初は固い話になるのかと身構えていましたが、いざ始まると趣味の話などプライベートな内容も多く、大変聴きやすかったです。しかし、それだけでなく、将来や職業選択において参考になることも多かったので、自分のこれからに役立てていこうと思いました。

(人文学部心理学科 男子)

●今日来てくれた皆様は、社長様始め役職の高い方々ばかりでしたが、凄く謙虚に感じました。こういう方々が会社を動かしているのかと思い、自分もこういう大人になりたいと思いました。

(人文学部心理学科 男子)

●皆様のお話を聴き、学生時代にやらかしたことがたくさんあるなど、自分にとってすごく身近に感じられました。大学を中退して今の仕事に至った経緯、職を転々とした経緯など、もう少し詳しく聴きたいと思いました。お忙しい中、お時間を作っていただきありがとうございました。

(人文学部心理学科 男子)

●学生時代にヤンチャをしていても、今の様な地位にいるということはやはり行動力が大事なのかなと思いました。

(人文学部心理学科 男子)

●今日学んだことは「後でやるより今」「我々だけで稼いでいるのではなく、お客様がいるからこそ食べていける」「社長になったら嬉しい反面、会社を潰さないようにするという責任、背負っているものがある」ということです。

(人文学部現代文化学科 男子)

●学生時代の話をお聴くと、身の回りの友人と大きく変わらないように感じました。卒業に向けて、卒業してからの自分の行動で、その後の人生が大きく変わってくるのだと思

いました。自分の思い描いていた仕事に就けなくても、勉強しやりがいを見つけて仕事をしていくことが大事だなと感じました。

(人文学部現代文化学科 男子)

●今回は 4 社の企業様にお越しいただきましたが、多数の方が趣味を持たれていて、仕事の合間に楽しんでいました。社会に出ると責任も重くなりますし、上に立つ人間ほど、社員の生活が掛かってきますので気苦労も増えると思いますが、個人の時間を大切にしているからこそ、仕事も頑張れるのかなと思いました。私もそうなりたいです。

(人文学部心理学科 女子)

●本日はお忙しい中、貴重なお時間を誠にありがとうございました。様々な職種の方のお話を聴いて、職業や人生も十人十色なのだと思います。地域の特色などもお話を聴きながらイメージ出来たので、北海道らしさを感じる事が出来ました。

(人文学部心理学科 女子)

●話を聴くだけでなく、○×形式のクイズでゲストの企業様に質問をしたり、原先生との対談だったり、学生からの質問に直接お答えいただいたり、大変賑やかでした。それでいて将来に役立つ内容だったので、本当に面白かったです。質問では、ゲストの方々のプライベートや趣味など、様々なことを知れました。答えにくい質問にもお答えいただきました。今回のゲストの方々は責任ある立場にいるので、最初は少し厳しいイメージを持っていましたが、どなたも優しく穏やかでした。人の上に立って責任ある仕事をするには、このように余裕を持った人間になることが大切だと知ることが出来ました。

(人文学部現代文化学科 男子)

●今回お話しいただいた皆様は、取締役などの重要な職に就いているため、責任や困難などの耐え抜き方を原先生とのトークで楽しく聴くことが出来ました。

(人文学部心理学科 男子)

●今回の対談では、仕事や人生のことについて楽しく学ばせていただきました。苦勞の先に今があるというのは皆同じで、私自身、これから先、何があるのか怖いですが、震えているだけでは何も出来ずに終わってしまうので、困難が来るまで十分に楽しみ、困難も楽しみたいと思いました。

(人文学部心理学科 男子)

●皆様、お話が大変面白く、雰囲気もユニークで、たくさんの部下の方から好かれていく上司なのだろうなと思いました。

(人文学部心理学科 女子)

●最後の質問コーナーを含めて、終始明るい雰囲気で話されていたことが印象的でした。仕事の間でも、このような和気あいあいとした雰囲気なのだろうなと感じました。

(人文学部心理学科 女子)

●上手な話し方、不快感を与えない物言いなど学ぶことがたくさんありました。

(人文学部心理学科 男子)

●年齢差がある方々の考え方や経験に触れて、自分が今まで知らなかった世界を知ることが出来ました。知らないことを知るという幸せもひしひしと感ずることが出来ました。

(人文学部心理学科 男子)

●「転職を繰り返し、自分の好きなこと、趣味を仕事にしたいと考えた時期もあったが、家族と収入を考えて今の仕事に就いた」というお話を聴き、就職する仕事は自分の趣味でいいのか、大学で学んだことを活かす仕事がいいのかわからずにいましたが、社会に出た後から考えても悪いことではないと思えました。

(人文学部心理学科 女子)

●チャンスは目の前にあったら必ず掴む、社長業はどんなことも自分で考えられるので楽しいという言葉が心に残っています。

(人文学部心理学科 男子)

●今までの講演で一番聴きごたえがあり、楽しみながら学ぶことが出来ました。

(人文学部心理学科 男子)

●頭が良いから社長になれるわけではなく、人柄や人脈、性格などがとても大切であるということを今日のお話を聴いて思いました。

(人文学部心理学科 女子)

●皆様、楽しんで仕事をされているということがよくわかりました。どの仕事にもそれぞれやりがいがあって、人と関わりながら学んでいくというのが共通していると思えました。

(人文学部心理学科 女子)

●社長業をされていても、一人の父親として、一人の人間として生活しているのだと、上から目線になってしまい大変恐縮ですが、そう思いました。またこういう機会があればいいなと思いました。

(人文学部心理学科 男子)

●今日、皆様のお話から「モチベーションはどのようにして動かせばいいか」について、考えるきっかけを掴みました。地域で異なることもあるというお話から、地域ごとの違いについても今後仕事をするうえで確認をしたり、知っておかなければいけないと感じました。地域で異なるものも柔軟に取り入れながら、今後様々なことに取り組んでいきたいと思いました。

(人文学部心理学科 女子)

●一人ひとりのお話をじっくり聴いてみたいと思いました。会社の重職に就いていながら、全員真面目な学生生活を送っていたわけではないということも意外でした。しかし、その分、社会に出てからご苦労もされたのだなと話を聴いていて思いました。

(人文学部心理学科 男子)

●社長、副社長、常務、取締役・・・偉い方々にお越しいただいて申し訳ない気持ちもありますが、大学時代の話などを聴いて、自分たちと似ていると思い、親近感が湧きま

した。

(人文学部心理学科 女子)

●社長業などの役職に就いている方々ばかりでしたが、アイスのしろくま君が高いと言ったり、逃げ恥を観られていたり、失礼かもしれませんが、妙な親近感がありました。

(人文学部心理学科 男子)

●それぞれの仕事で忙しい時期も異なっていましたが、皆様に共通してあったのは、現状には決して満足していないということです。これからも勉強していくという方や、大それたことを成さなくても出来ることを少しずつやっていくことが大切など、わかってはいてもあらためて考えさせられることが多々ありました。

(人文学部心理学科 女子)

●やりたかった職業や職場でなくても、そこでいかにやりがいを見い出していくことが大切かを感じました。

(人文学部心理学科 女子)

●どのご職業も身近なものではなかったもので、これまで深く知ろうとはしていませんでしたが、今回お話を聴き、興味・関心が高くなりました。

(人文学部現代文化学科 女子)

●話の中で「モチベーションが下がらないようにコントロールする」とありましたが、私はやる気が出ないとそのままだらけてしまい、作業は終わらないことがよくあります。仕事でもモチベーションは大切になってくると思いますので、下がらない方法、下がったときに防げる方法を考えなければいけないと思いました。違うところから今に繋がっているという話もあったので、趣味や好きなこと、興味のあることを今のうちから増やせばいいと思いました。

(人文学部心理学科 女子)

●私は現在、保育の勉強をしています。保育士になる気は全くありません。既にやりがいを見い出せていませんが、なるつもりがなくても今の仕事に就いてやりがいを感じているという話を聴き、とりあえず経験と思って、やるだけやったあとにやりがいはついてくるという言葉信じ、やっていこうと思いました。

(人文学部心理学科)

●割と遊んでいた方やヤンチャをしていた方に社長が多く、やはり偉くなるには学力だけではないということがわかりました。常識やコミュニケーション能力などの大切さを知ることが出来ました。

(人文学部心理学科 女子)

●実際に来てくれた企業の皆様、それとこの場をセッティングしてくれた先生に感謝しています。この時間を無駄にせず、自分の就職活動に活かしていきたいと思います。

(人文学部心理学科 男子)

●ふるさと納税や地域のお祭りの話など、企業を挟んで地域貢献活動をしているところ

が多いことがわかりました。

(人文学部心理学科 男子)

●日常で起こったことを話してくれたり、インタビュー形式の授業はあまりないので、楽しく聴くことが出来ました。特に学生時代はどのような人間だったかについてのお話が面白かったです。

(人文学部現代文化学科 男子)

●普段なかなか聴くことの出来ないお話をたくさん聴けたと思いました。私は保育関係の仕事に就きたいと思っていますが、給料は良くありません。私が働く頃には少し上がっていて欲しいと思っていますが、自由に使えるお金を残すように、もっと計画性を持たなければと思いました。

(人文学部心理学科 女子)

●昔の時代を思えば、今は幸せな時代なので、辛いことがあってもそれはちっぽけなことかもしれません・・・と話されていたのを聴き、私もポジティブ精神で生きようと思いました。

(人文学部心理学科 女子)

●今回のお話を聴いて、聴く前より仕事について、就職についての意識が自分の中で高まりました。私も将来はこういう舞台に立てるような人間になりたいと思いました。そのためには、良い企業、自分に合った企業を探していこうと思いました。

(人文学部心理学科 男子)

●今回の授業は対談形式で進んでいきましたが、来ていただいた企業様の生の声が聴けて、自分の就職や将来について、大変参考になりました。趣味のお話や働いている地域のお話、今までの職歴や年収についてまで、どんな質問にもお答えいただきました。自分で起業しようとは全く考えていませんでしたが、自分も責任ある立場の仕事がしてみたいと思いました。将来、クルマを複数台所有出来るようになりたいです！

(人文学部心理学科 女子)

●今回お越しいただいた企業様は、どこも地域貢献活動に力を入れ、地域と共に発展していくことを大切にされていました。そして今回私が一番思ったことは、重要なポイントを強調した話し方や、時折り笑いを混ぜた話術で、聴き手である私たちを惹きつけていたことです。そうした話術は、人との様々なコミュニケーションの中で身につくものだと考えているので、これから私も人と話すときに力を入れてみたいと思いました。

(人文学部心理学科 女子)

●「人生の正解はわからない」ということがわかりました。

(人文学部心理学科 女子)

●「大学を辞めたことを後悔している」という言葉にハッとしました。今、自分が大学

に行ける環境を整えてくれた両親に感謝し、決して辞めずに卒業しようと思いました。

(人文学部心理学科 男子)

●職業に対するイメージをより固めることが出来ました。特に働きながらも、地域への貢献、チャリティー等も行っていると知り、仕事をするだけが全てではないと考えました。

(人文学部心理学科 男子)

●チャンスを逃さないようにするというお話を聴き、まさにそのとおりだと思いました。やりがいの話題の際、個人のやりがいより、立場としての使命感と聴いて、確かにやりがいも大事ですが、結果が出なければ意味がないとも思いました。自分の立場を理解しつつ仕事を行うのはとても難しいことだと思いました。また、大学を中退したことを今でも悔やんでいるというお話を聴き、とても他人事ではありませんでした。そして、どの企業様にも共通していたのは、勉強は継続ということでした。

(人文学部心理学科 女子)

●ふるさと納税のことを、ただ単に税金を納めたらモノが返ってくるだけだと思っていましたが、サービスを受けることが出来ると知り、人を喜ばせるのはモノだけではないのだなと感じました。

(人文学部心理学科 女子)

●30代～50代と幅広い年齢層ながらも、皆様会社のトップとしてご活躍されていることに変わりはなく、働くうえで年齢を特別意識せず、自分の頑張り次第でどんなキャリアも築いていけるのだと感じました。働くということが自己実現のため、自分のため、家族のため、会社のため、生活のため、地域のため、人のため、世の中のためであるといったことは、これまでの授業でも感じてはいました。ただ、社会人も一人の人間であり、本当に思っていることはどうしてもこういう場では聴きにくいと思います。そのような各企業の皆様からお話が聴けたことは大変貴重で有意義な機会でした。

(人文学部心理学科 男子)

2 企業と大学の意見交換会

今年度初めて開催した試みであるが「ビジネス界から講師を派遣し、リアルな実社会

について直接話す機会を設けてはどうか」「若手社員の定着以前に採用時に学生が集まらない」「インターンシップを欧米のように選考を意識した内容にしてはどうか」「昨今

の新入社員は学ぶ姿勢に欠ける」「留学生をもっと地域貢献に還元させてはどうか」「定員を満たしていない学部学科についてどうお考えか」等々、俯瞰的に大学教育および

本

学を見た斬新な意見が飛び交った。

3 青森県就職市場調査

青森商工会議所、青森県中小企業家同友会、ジョブカフェあおもりの三団体もあ
ゆ

る手を講じてきたが、これといった打開策は出せずにいる。青森市は支店が多い「支
店

経済」のため、決して求人が多いとはいえず、八戸市はメーカーが多いため、理系が
優

遇される地域である。そもそも二桁の学生を採用出来る体力のある企業は、青森銀行、
みちのく銀行、吉田産業（建設資材）、ユニバース（スーパー）、一部報道機関程度し
か

ない。あとは市役所や県警になるが、もともと大きな会社が存在していないというハ
ン

デを背負っている。学生がUターンして来ない理由もそこにあるのかもしれない。し
かし、中小企業でも経営者の意識が高い企業は存在すると思われるので、そのような
企

業を開拓していくのが得策であろう。また、ジョブカフェあもりと緩やかな提携を
試

み、密な情報共有をしていくのが、本学における青森県出身学生への最善なフォロー
に

なると思われる。現在、本学に在籍している青森県出身の学生は46名である。入試広
報としても青森県からの入学者増は大きな課題であり、そのためにも出口対策として、
青森県内の求人開拓は急務であり、その動きを保護者に示すことで、より安心して本
学へ子供を送り出すことが出来る考える。

(1) 訪問団体・企業

① 青森県中小企業家同友会

現在、381社の県内企業が加盟している。もともと県内に大手企業が少な
いため、数十名採用する企業は稀であり、多くても十数名（高卒含む）とい
う企業がほとんどである。必然的に大手志向の学生は、金融ないしは官公庁
という選択肢になってしまう。そのため、地元子供を就職させないという
親もいる。また、原子力発電所関係で、六ヶ所村は求人が多い。同友会とし

でもいろいろな試みはしており、合同企業説明会などのほか、大学（青森大学、青森中央大学）とも提携し、少しでも中小企業の良さをアピールしたりしているが、学生の限定的な視野の狭さを感じる。中小企業ほど10年後のイメージがしやすいと思っているが、反面、加盟企業にも問題があり、学生が求めているものを見せられていないのも事実である。

② 青森商工会議所

県内はもちろん、仙台や東京でも合同企業説明会を開催している。以前は札幌でも開催したことがあり、15～16 社が参加したものの、参加学生が15～16 名と低調だったため、数年前から開催は取りやめた。毎年、3 月～4 月は県内で開催し50～60 名の学生が参加、4 月以降は仙台と東京で開催し、仙台は30 名程度、東京は20 名程度の学生が参加している。県内で採用活動に積極的な企業は、青森銀行、みちのく銀行、吉田産業（建設資材）、ユニバース（スーパー）くらいであるが、県内の景気は良くなっているので、中小企業でも採用意欲は以前より高い。マスコミ関係（テレビ、新聞）も比較的採用数は多いが、青森県警の人气が低下している。国（労働局）や県から予算が付けばいろいろなことをしてみたいが、今は会員企業からの一社当たり13 万円の予算で採用活動をしている。

③ ジョブカフェあおもり

ジョブカフェ（スキルアップ）、ハローワーク（求職）、サポステ（メンタルヘルス）が一体となったワンストップサービスを展開している。県の外団体として活動しているが、学生の県外流出を防ぎたいのが目的である。森大学や青森公立大学とも提携している。

④ 青森銀行

U ターン学生の採用が多い。県内での採用活動のほか、仙台や東京でも採用活動を行っている。県内の大学で学内説明会に参加するのは、青森公立大学と弘前大学のみである。採用数は毎年50 名程度、うち短大生は10 名程度である。これとは別に高校生も採用している。短大生も指定校推薦ではなく、

自由応募である。インターンシップは大学生のみを対象に、夏2回、冬1回行っている。企業説明会は3月20日からスタート、30名程度の参加であるが、4月以降は50名程度に増える。

⑤ みちのく銀行

青森銀行とは全く別な採用スタイルを取っており、合同会社説明会にも積極的に参加、札幌で開催されるマイナビ就職 EXPO にも参加している。県内や仙台、東京でも企業説明会を開催しているが、札幌でも複数回開催、青森銀行は比較的上位校狙いであるが、ここは大学名に捉われない柔軟な姿勢である。新しい取り組みにも積極的であり、青森銀行が保守的であるがゆえ、みちのく銀行の革新的な採用スタイルは県内でも有名である。

4 おわりに

北海道商工会連合会との産学連携プロジェクト第二弾として、今年度は社会人講座、大学と企業の意見交換会、青森県就職市場調査を行った。学生・企業双方を媒介する立場として本プロジェクトは、昨年度の内容をブラッシュアップさせたものとしたが、社会人講座における学生の感想を読む限り、教員だけによる座学では自ずと限界が生じ、百聞は一見に如かず、定期的に社会人を呼び「現場の声」を聴かせることが重要であるとの認識を持った。それにより座学で学んだことの立証が成立し、「働くとはどういうことか？」その本質が学生の腑に落ちるようである。ただし、社会人を呼んで一方的に話をさせる講演スタイルは時代遅れであり、ある種の授業演出も必要である。その意味で今年度の社会人講座は昨年度より評判が良く、趣向性を凝らせた内容が「楽しく学べた」という感想を多く引き出している。

大学と企業の意見交換会においても、現場が大学教育に求めている内容と大学教員が良かれと思ってやっていることの乖離を知ることができ、耳が痛い意見も数多くあったが、これは真摯に受け止めなければならない。

そして、青森県就職市場調査であるが、本学において青森県は東北地区における

命線を握っていると言っても過言ではない。同県から本学に入学してくる学生は押しなべて優秀であり、優秀であるからこそ、Uターン就職する際に「学生から頼りにされるパイプ」を作る必要がある。この出口保障が回り回って入口での入学者を増や
すことに繋がるのは前述したとおりである。

今年度の企画をやり終え、社会人講座を受講した大学二年生に大きな気づきがあり、大学と企業の意見交換会で得られた貴重な意見を教員が授業に反映させ、東北
地
区における足掛かりとして青森県との確固たるパイプが出来ることを願ってやまない。取り急ぎ青森県とはジョブカフェあおもりとの緩やかな提携が急務であると考え

2016年7月15日（金）前期・社会人講座の様子①





2016 年 7 月 15 日（金）前期・社会人講座の様子②





2016 年 7 月 15 日（金）前期・社会人講座の様子③





2016 年 7 月 15 日（金）前期・社会人講座の様子④





2016年12月9日（金）後期・社会人講座の様子①



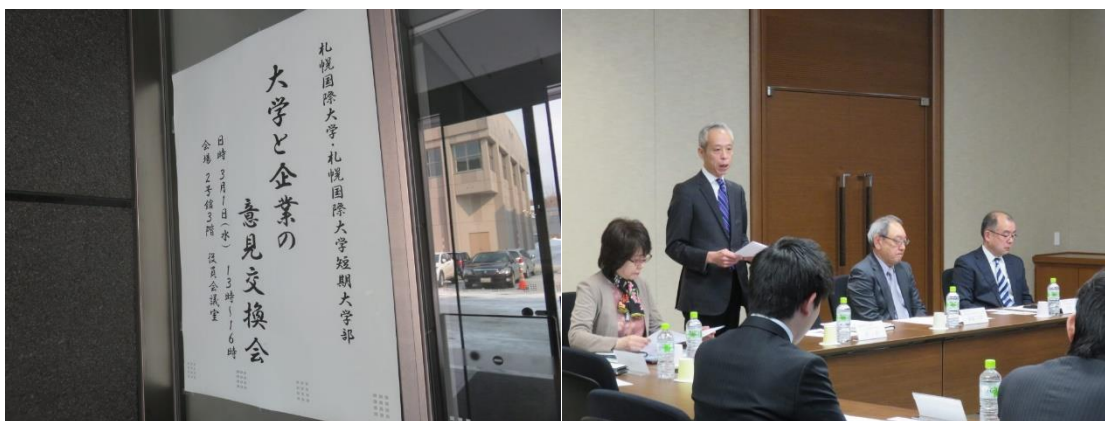


2016年12月9日（金）後期・社会人講座の様子②





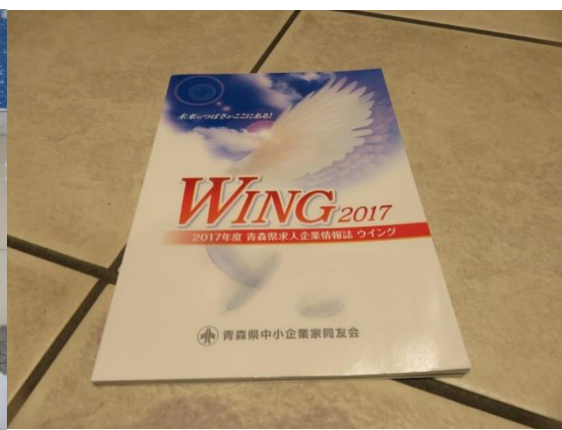
2016 年 3 月 1 日（水）企業と大学の意見交換会の様子





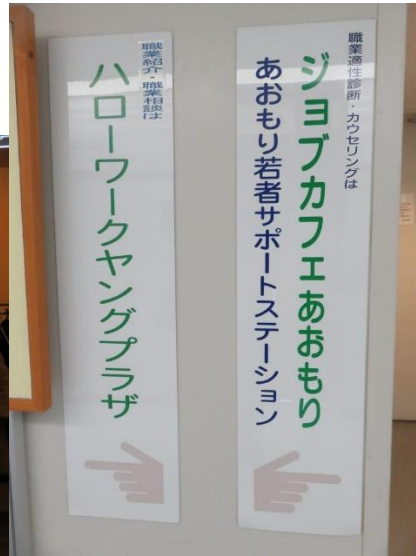
2017年3月8日（水）～9日（木）青森県市場調査

① 青森県中小企業家同友会

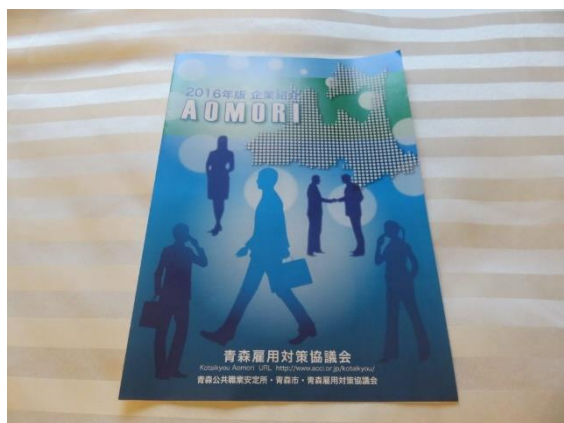


② ジョブカフェあおもり





③ 青森商工会議所連合会



④ 青森銀行 ⑤みちのく銀行



以上